

いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成22年8月19日



「田んぼの学校」生きもの調査と分けつ調査を実施

7月1日(木)、いわき市立夏井小学校の学習田において、5年生23名が参加して「田んぼの学校」生きもの調査を実施しました。



(イトミミズの生息数調査)

生きもの調査は、一定面積の水田表層からネットを使って土壌「トロトロ層」を採取し、洗浄後に中のイトミミズを数え、学習田全体にいるイトミミズの数と推定するもので、児童たちは、稲にとって有益な働きをするトロトロ層とイトミミズの関わりについて学習しました。



(イトミミズの観察)

また、7月8日(木)は、稲の分けつ(稲の親株から子株が出て増えること)の数を調査し、今年の収穫量を予測しました。

その結果、今年は多くの収穫が見込めることが分かりました。

調査終了後は、6月の活動で作ったばかりの追肥と除草作業を行なったほか、同じく6月に作ったかかしを学習田に立てて、1学期の「田んぼの学校」の活動を締めくくりました。



(稲の分けつ調査)



「農産物マーケティング研修会」、「いわき市認定農業者協議会総会」が開催されました。

7月2日(金)、いわき新舞子ハイツにおいて、「農産物マーケティング研修会」、「平成22年度いわき市認定農業者協議会総会」が開催されました。



(平岡豊氏の講演)

農産物マーケティング研修会は、いわき市農産物直売所連絡協議会といわき市認定農業者協議会の共催で開催され、「農商工連携をふまえた6次産業の活性化について」と題してマーケティングプロデューサー平岡豊氏による講演が行われました。

講演では、1 連携する産業が対等で円満な関係、2 双方が得をする、3 目標の共有化、4 マーケティング力を備えること、などの必要性や地域内での機能連携を深めた農商工連携モデルの事例を交えた内容が話され、出席者は真剣に聞き入っ

ていました。



(総会の状況)

引き続き、「平成22年度いわき市認定農業者協議会総会」が開催され、事業計画等が原案どおり承認されたほか、積極的な活動の展開について確認されました。いわき農林事務所では、今後も両協議会に対する積極的な支援を行っていくこととしています。



「いわき市農業担い手育成講演会」を開催

7月13日(火)、JAいわき市本店において、68名の参加により「平成22年度いわき市農業担い手育成講演会」を開催しました。



(基調講演)

はじめに、「有機リサイクル農業と農業の6次産業化を進める永井農場の取り組み」と題して永井農場 永井進代表から基調講演がありました。

講演では、永井代表が、規模拡大や農業の6次産業化を積極的に進めてきた経緯や状況のほか、特に販売面で努力したことや農産物加工への取り組みの内容について話され、参加者は熱心に聞き入っていました。

引き続き「地域の遊休農地再生に取り組むF. K. ファームの農業参入」と題してF. K. ファーム 羽田正代表より事例報告がありました。

ユーモアあふれる話しぶりと遊休農地を活用した、そば、アスパラガスの生産・販売と、そば屋及び直売所の開業までの苦労話や経営の黒字化に向けた今後の取り組みについて説明されました。

遊休農地解消は、農業者だけでは大きな困難が伴うため、建設業を上手に活用して取り組むことが重要であるとの話に参加者は納得した様子でした。

今後もいわき農林事務所では、講演会など研修活動を通じて、いわき地方の農業担い手の育成を進めていくこととしています。



「木工工作」出前講座を実施

7月13日(火)、いわき市立永崎小学校において、4年生児童55名を対象として木工工作の出前講座を実施しました。

この講座は、森林環境税を財源とした「木とのふれあい創出事業」で、木工工作を通じて児童たちが木材の特性を体感し、木を使ったものづくりの楽しさや、木材の利用と森林・林業の関わりについて学習の機会を創出することを目的としています。



(講師の豊田氏の説明状況)

はじめに、講師の田人林業研究会の豊田新一会長が、木材の話とノコギリや金槌など道具の使い方について説明を行った後、5名1組に分かれて、間伐材を使った木箱作りを行いました。

木箱作りは、まずノコギリで2枚の板取りを行い、その板に釘を打ち、組み立

てますが、児童たちは時間をかけ丁寧に板を切っていました。その後の組み立てでは、釘が曲がったり、板からはみ出したりなど苦労しながら、金槌をたたく音が体育館に響き渡りました。



(熱心に木箱を組み立てる児童たち)

2時限がかりでようやく木箱が完成しましたが、出来栄は、隙間や段差があるなどそれぞれ個性のある作品となりました。

特に作業中は、指に絆創膏を貼る光景も見られましたが、児童たちは、真剣に取り組み、完成品を仕上げた満足感でいっぱいといった様子でした。

この講座前には、学校に市内の製材工場から軽トラック1台分の木工用資材が運搬され、先生方はその取り扱いに困惑していました。しかし講座終了後は児童たちが、山積みされた端材を袋に詰め自宅に持ち帰るなどの光景が見られ、木材に対する関心や興味を抱いてくれた様子でした。

今後、本講座は、市内2つの小学校で開催を予定しており、将来を担う多くの児童たちが木材とのふれあいを通じて森林・林業に関心を持つよう取り組みを進めていくこととしています。



「いわき地方有機生産者技術交流会」を開催

7月23日(金)、JAいわき市大浦支店において、有機栽培技術の情報共有及び農産物の生産技術の向上と経営の安定を目的に生産者29名が参加し、「平成22年度いわき地方有機生産者技術交流会」を開催しました。

交流会では、「除草剤を使わない水田雑

草管理の考え方」について東北農業研究センター福島研究拠点の長谷川浩氏が講演を行いました。この中で、「チェーン除草」(※1)の効果的な方法や元肥を入れない土づくりなどが説明されました。



(長谷川浩氏の講演)

また、福島県農業総合センター有機農業推進室の宗像宏行氏から「野菜有機栽培における害虫対策」と題して講演があり、「コンパニオンプランツ」(※2)や「バンカープランツ」(※3)の活用法について説明がありました。



(現地検討会の状況)

講演に続く現地検討では、四倉町地内の「アイガモ除草による有機水稻実証ほ」と平下神谷地内の「有機アスパラガスのたい肥施用実証ほ」を見学し、参加者からは、有機栽培の方法について実証ほ農家に対する質問が寄せられるなど、活発な意見が交わされました。

次回の交流会は、有機農産物の販売などをテーマとして11月に開催を予定しており、いわき農林事務所では、興味のある方の参加をお待ちしています。

※1 金属などのバーにチェーン(鎖)をワッカあるいはスタレ状につり下げた器具を使って水田表層部の除草を行うもの。

※2 植物どうしがお互いの成長を助ける植物のことで、別名「共栄作物」とも言う。基本的に香りの強い植物(花系、ハーブ系、にんにくなど)に多数ある。

※3 天敵をふやしたり温存する作物・植物のこと。バンカーとは「銀行」の意味で、天敵を施設内に開設した銀行に貯金しておき、作物に害虫が発生した時には、いつでもこの銀行から天敵を払い戻せるようにする。



「川部地区営農改善組合」が 設立されました。

7月31日（土）、川部公民館において、「川部地区営農改善組合」設立総会が開催されました。

この組合は、農用地利用改善団体としていわき管内11番目、いわき南部地域では初めての組織として設立されました。



（設立総会の状況）

総会では、地区代表の小野勝彦氏のあいさつに続いて設立の趣旨説明、営農改善組合規約、役員を選出、農用地利用規程、本年度の事業計画が提案、審議され承認されました。

引き続き役員選出に入り、組合長に小野勝彦氏、副組合長には沢田武好氏、会計・書記には小野邦夫氏が選出されました。

「川部地区営農改善組合」は、地区の農用地を最大限に活用していくこと、地区の農用地利用集積を図っていくこと、担い手農家と兼業農家とが労働力などを補完し、営農活動に参加していくことなどにより、川部地区の農業の発展を目指しています。

組合では、8月中に農用地利用規程について、いわき市への認定申請を行うこととしており、この認定を受けることにより、名実共に「川部地区営農改善組合」が農用地利用改善団体組織として活動をスタートさせることとなります。

いわき農林事務所からのお知らせ

◎ いわき地方観光物産交流展

日時：8月28日（土）10:00～16:00 会場：会津若松市中町 野口英世青春広場周辺

◎ 田んぼの生きもの調査

日時：9月7日（火）9:15～12:10 会場：いわき市立大野第一小学校周辺

◎ 食の安全・安心アカデミー（生産者）「農薬適正使用等研修会」

日時：9月7日（火）13:30～15:00 会場：いわき中央卸売市場

◎ 第3回農業ふれあい講座（秋冬野菜指導会）

日時：9月11日（土）10:00～ 会場：夏井地内現地ほ場

◎ 食の安全・安心アカデミー（生産者）「食品表示研修会」

日時：9月15日（水）13:30～15:00 会場：県いわき合同庁舎南分庁舎 3階大会議室

※8月5日「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部が設立されました。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp